

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目検定試験
旧カリキュラム対応
実施要項

この実施要項は、公益財団法人日本スポーツ協会(以下「JSPO」という。)公認スポーツ指導者制度に基づくアスレティックトレーナー専門科目検定試験について定めるものである。

【1. 理論試験・実技試験共通】

1. 検定試験の目的

検定試験は、理論試験と実技試験で構成され、JSPO 公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)に必要とされる知識や能力の有無を評価する。

2. 留意事項

- (1) JSPO は検定試験に関し不正行為があった場合は、その不正行為に関係のある者について、その受験を停止させ、全ての試験結果を無効とする。
- (2) JSPO は前項による処分を受けた者について、期間を定めて受験資格を取り消すことができる。
- (3) 検定試験は学校を卒業する年度より前に受験することはできないものとし、万が一受験資格を満たさない者が受験した場合、全ての試験結果は無効とする。
- (4) 旧カリキュラムに対応した検定試験は、理論試験は 2029 年度、実技試験は 2030 年度をもって終了する。よって、受験資格を満たした者でも、各試験の終了年度以降は受験資格を消失する。また、2022 年カリキュラム対応の検定試験を受験するためには、2022 年カリキュラムの講習等を修了することが必要となる。

【2】理論試験

1. 出題内容:

<基礎科目>

- ①スポーツ科学 ②運動器の解剖と機能 ③スポーツ外傷・障害の基礎知識
- ④健康管理とスポーツ医学 ⑤スポーツと栄養 ⑥アスレティックトレーナーとしての常識問題

<応用科目>

- ① アスレティックトレーナーの役割 ②検査・測定と評価 ③予防とコンディショニング
- ④アスレティックリハビリテーション ⑤救急処置 ⑥アスレティックトレーナーとしての常識問題

2. 受験資格

以下の条件をいずれも満たす者。

- ・ 旧カリキュラムに対応した JSPO-AT 専門科目の履修を完了し(講習・試験免除適応コースアスレティックトレーナーコース(以下、AT コース)の場合は受験度末までに履修見込みの者を含む)、【共通科目Ⅲ及び JSPO-AT 専門科目講習の受講完了申請を終了(受講完了見込みの者を含む)】または【共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ修了証明書及び JSPO-AT 専門科目講習修了証明書を取得】している者
 - * 受講完了申請は学校の卒業と紐づかないため、AT コースに在学中の者については学校の卒業または卒業見込みであることは問わない。
- ・ JSPO が定める一次救命処置(以下、BLS)資格*の有効期限内の認定証を有する者。
 - 【AT コースで専門科目講習を受講した者】
理論試験当日時点で有効期限内の認定証を有する者。
 - 【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】
救急対応に関する講習会の実施時点で有効期限内の認定証を有する者。(JSPO で年度毎に定める)
 - * [公認アスレティックトレーナー資格更新のための一次救命処置資格保持義務に関する基準](#)に示す BLS 資格をさす。2020 年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響による時限的な措置として、日本赤十字社の認定する BLS 資格以外であっても上記基準に準じた BLS 資格であれば受験を可としていたが、2024 年度以降はその措置を恒常的に適用する。

3. 実施方法:

マーク形式による五肢択一式および五肢択二式

各科目 110 問・各 150 分(各科目、必修問題 10 問および一般問題 100 問で構成)

4. 試験会場:

全国の 6 会場で実施(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡)

5. 検定日:

各年 11 月の JSPO が定める期日

6. 受験の手続:

【AT コースで専門科目講習を受講した者】

時期	内容	方法
7~8 月	JSPO から学校に受験案内	メール
9 月 30 日まで	BLS 提出・試験申込・会場選択	指導者マイページから受験者本人が行う
	受験料の入金	指導者マイページから本人が入金
10 月	受験決定通知	受験者本人に通知

- * 2023 年度まで実施していた理論試験受験願書による申し込みを 2024 年度以降は廃止し、指導者マイページからの申込とする。申込方法は別途通知する。
- * 理論試験の受験希望者は、JSPO 所定の卒業(修了)見込証明書を添付すること。
- * 共通科目を旧カリキュラムで修了する場合、既卒者は JSPO 所定の卒業証明書と共通科目 I・II・III 修了証明書及び JSPO-AT 専門科目講習修了証明書(写し)についても併せて添付すること。
- * 共通科目を新カリキュラムで修了する場合、修了証明書(写し)の提出は不要。

【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】

時期	内容	方法
7~8 月	JSPO から対象者に受験案内	メール
8~9 月	申込・会場選択	指導者マイページまたは JSPO 指定のフォーム
9~10 月	受験決定通知	受験者本人に通知

- * 新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例措置により、養成講習会受講時において BLS 資格認定証の提出が完了していない者は、検定試験の申込時に提出すること。

7. 受験料:

【AT コースで専門科目講習を受講した者】

16,500 円(税込)

【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】

なし *養成講習会の受講料に検定試験の料金を含む。但し、但し、2025 年度以降、CBT 移行に伴い再受験時には受験料が発生する予定。

8. 合格基準:

基礎科目、応用科目の両方で、必修問題は 8 割以上、一般問題は概ね 7 割以上の正解をもって合格とする。

9. 合否通知:

【AT コースで専門科目講習を受講した者】

結果を各学校および受験者本人に通知する。

【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】

受験者本人に通知する。

10. 受験可能期間:

【AT コースで専門科目講習を受講した者】

- 2029年度まで
 【JSPOが実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】
 受講開始年度から5年以内
 *2019年度までに受講を開始した者は新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例措置により、受講開始年度から6年以内となる。

【3】実技試験

1. 出題内容:

テキスト記載の疾患及び競技種目の組合せを中心に、以下項目について出題する。

- ・ スポーツ外傷・障害等に対する救急処置(評価を含む)
- ・ 検査・測定・評価方法
- ・ 対象部位のテーピング
- ・ アスレティックリハビリテーションの初期メニューの立案、説明、デモンストレーション、実技指導
- ・ アスレティックリハビリテーションの後期(現場復帰)メニューの立案、説明、デモンストレーション、実技指導
- ・ 現場での予防方法の立案、説明、デモンストレーション、実技指導

2. 受験資格:

以下の条件をいずれも満たす者。

- ・ 理論試験に合格し「公認アスレティックトレーナー理論試験(又は客観式試験)合格証」の交付を受けた者。
- ・ 受験申込時にJSPOが指定する現場実習(180時間)を修了している者(【ATコースで専門科目講習を受講した者】のみ)。

3. 出題方法:

以下のカテゴリーに分けて出題する。

カテゴリーⅠ	救急処置、検査・測定と評価
カテゴリーⅡ	アスレティックリハビリテーション
カテゴリーⅢ	テーピング

4. 検定日および試験会場:

前期	9～10月	東京近郊の指定する会場
後期	2～3月	東京近郊または大阪近郊の指定する会場

5. 受験の手続き:

【ATコースで専門科目講習を受講した者】

実技試験受験願書を在籍するまたは卒業した学校を通じてJSPOに提出する。

なお、受験願書及び実技試験受験票には本人単身写真(縦4cm×横3cm:出願前6カ月以内に脱帽して正面から撮影したもの。)を貼ること。新規受験者及び受験有効期限切れ等による再受験者は、「理論試験合格証」又は「客観式試験合格証」の写しと現場実習を修了したことを証明する現場実習報告書(個人用)を添付すること。

なお、申込方法は、JSPOが定める方法をもってこれに代えることがある。

【JSPOが実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】

JSPOが定めるフォームより受験申し込みを行う。

6. 受験料:33,000円(税込)

- * JSPOが実施する養成講習会でカリキュラムを修了した者のうち、受験番号の上3桁が210以下の者は不要となる。

7. 評価方法:

公認スポーツドクター1名、公認アスレティックトレーナー2名の計3名で構成する検定員が受験者の

技能、技術を採点し、総合的に評価する。

8. 評価基準:

JSPO-AT が備えるべき知識、理論及び基本的な実技を基盤として、現場で安全に業務を遂行しうる基本的な実技及び指導を実践できるかを評価する。カテゴリー I ~ III に共通する評価のポイントは下記の通りとし、公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト(旧カリキュラム対応)の記載内容を判断基準とする。

- (1) 競技者とのコミュニケーションを前提とした JSPO-AT に必要な技術を有しているか。
- (2) JSPO-AT が備えるべき知識・理論を基盤として実施される基本的実技及び指導が安全を確保できる許容範囲であるか。

各カテゴリーでの評価のポイントは以下の通り。

カテゴリー	評価のポイント
I 救急処置、 検査測定・ 評価	<ul style="list-style-type: none"> ①病態理解のための情報収集力 (病態からみた評価項目の理解と適切な手順[問診・視診・触診]) ②対象部位の機能・理学検査による鑑別評価 (鑑別に必要な ROM・MMT・整形外科的テストの実施) ③情報収集・鑑別評価実施時のリスク管理 (手技の事前説明、痛みの確認、病態を悪化させない配慮) ④スポーツ外傷・障害に対する救急処置 (正しい手順・方法での救急処置[安静肢位・固定肢位・固定方法の選択、RICE 処置]) ⑤評価結果及び救急処置の選手への説明(適切な言葉で選手に病態の説明)
II アスレティック リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ①評価実技能力(アスレティックリハビリテーションプログラム処方に必要な機能評価のスキル) ②プログラム作成能力 (傷害特性・競技特性・フィットネスレベルにあわせたプログラム作成) ※プログラムとは複数のエクササイズメニューで構成されているもの ③エクササイズ指導能力(エクササイズの適切な実技指導) ④説明・コミュニケーション能力 (評価、エクササイズ指導及びリスク管理における必要なコミュニケーション) ⑤リスク管理能力 (傷害特性、競技特性、フィットネスレベルを考慮した症状増悪や二次損傷のリスク回避)
III テーピング	<ul style="list-style-type: none"> ①外傷・障害の理解とテーピングの種類・手技の選択 ②ポジショニングの適切さ(選手の姿勢の配慮、リスクの配慮、巻く側の姿勢) ③テープを巻く範囲 (アンダーラップ・アンカー・サポートテープの位置、方向、角度) ④適切な張力で効果的なテーピングの実施(たるみ、しわ、食い込み) ⑤手早く綺麗なテーピングの実施 (時間、仕上がりの綺麗さ、全体としてフィットしているか)

9. 合否通知:

実技試験合格者には公認アスレティックトレーナー専門科目検定試験合格証を発行し、検定試験の修了を通知する。

10. 受験可能期間:

【AT コースで専門科目講習を受講した者】

2030 年度までかつ理論試験受験申込年度から 4 年間とし、受験機会は 2 回までとする。

* 前項の 2 回目の試験に合格していない者で再度現場実習(180 時間)を終えた者は、前回の受験有効期限を満了した後に実技試験の受験資格を再度得ることができる。

【JSPO が実施する養成講習会で専門科目講習を受講した者】

2030 年度まで。但し、受験機会は 2 回までとする。